

第3学年 学年通信 自己探求・自己錬磨・自己実現 ～自分だけの正解を探して～

第12号 令和 3年 6月 25日(金)

もうすぐ7月、早いですね。私は実業系高校勤務が長かったので、7月といえば「企業の求人解禁→三者面談→面接指導」という図式が頭に浮かんできます。進学であれ就職であれ、受験生にとって未来を具体化していく大事な月であることに変わりはありません。今夏は昨年と同様に過ごしている場合ではないという自覚、ありますか？7月末には推薦委員会が開かれ、いよいよ面接や小論文の個人指導も始まります。夕課外でバテている場合ではないですよ。

以下は私の経験した、面接指導での出来事です。どう受け止めるかはアナタ次第。

- ① ある夏の課外期間中、とある学科の生徒3名に面接指導をしました。練習を始めて間もないとのことで、集団面接の形で基本的なことを問いました。高校生活の中で一番努力したことは？…あなたの長所は？…この企業を選んだ理由は？等々。
「自分はこれを頑張ってきた！」と言える生徒は、アピールできるものがあるという自信からハキハキと受け答えができました。反対に、平々凡々と時間に流されるまま過ごしてきた生徒は、どう自己PRすればいいのかわからない…答えられない…という焦りから言葉に詰まり、とうとう黙り込んでうつむいてしまうという状況に。隣でスラスラ語る友人に比べ、受験に対する考えの甘さにかなりダメージを受けて、真っ青な顔でふらふらと教室へ戻って行きました。
- ② 授業担のクラスの生徒2人が個人面接の指導をしてくれと来ました。彼らは指導担当の先生以外にも積極的に声をかけ練習を重ねていた子たちです。私の所へ来たのは2回目。「前回のリベンジ！」と連れていかれた練習場所の教室には・・・そのクラス全員が残っていて（男子40名+担任の先生）、担任が個別面談をする傍らで、生徒同士で面接練習をしたり、履歴書や小論文を書いたり、過去問を解いたりしていました（ちなみに18時過ぎです）。
私の面接では違反質問（昨日学びましたよね）をはじめ意表を突く質問が飛んでくる、だから誰かの面接の様子をみんなで見ながら、何と答えればいいのか対策を練りたい！とのこと。いわゆる「見取り稽古」ですね。勢いに押され、大半の生徒が見守る中、呼びに来た生徒を相手に面接開始。彼が答えた内容について、当然ギャラリーからツツコミが入ります。
が、みんな大真面目。「あの答えはないわ～」とか「苦労したことから長所出した方がよくない？」とか「先生、こういう答えはアリですか？」とか、面接が終わるとまあ～とにかく賑やかで。受験のピークが過ぎるまで、たびたび付き合わされたのは言うまでもありません。でもクラス一丸となって受験に向かっているあの雰囲気はとても心地よかったです。全員が無事合格を果たして、ちゃんと報告に来てくれました。

※①でダメージを受けた生徒は後日リベンジに来ました。何回も練習して、第1希望で内定を勝ち取りました。

諦めないで努力した彼の、精神力の強さはぜひ見習ってほしいです。

【週行事予定】 6/26（土）～7/10（水） ※学校行事は3年生関係分

月	日	曜	行事予定	課外	備考
6	26	土			
6	27	日	英検2次		
6	28	月	期末考査	×	8:15 登校
6	29	火	期末考査	×	8:15 登校
6	30	水	期末考査	×	8:15 登校
7	1	木	期末考査	×	8:15 登校
7	2	金	進研記述(3年)	◎	7:25 登校
7	3	土	進研記述(3年)		7:25 登校
7	4	日			
7	5	月	三者面談・家庭訪問期間・7/16	◎	7:25 登校
7	6	火	生徒会交流会	◎	7:25 登校
7	7	水	㊦100周年生徒活動時間Ⅱ	◎	7:25 登校
7	8	木		◎	7:25 登校
7	9	金	成績入力〆切	◎	7:25 登校
7	10	土	土曜講座(分野別教養講座(1,2年)・校内進路相談会(3年))		

【新型コロナウイルス感染症の対応について】

○毎日の検温を欠かさず、健康管理に留意すること。 ○マスクの着用を徹底し、食事中以外はマスクを外さないこと。